鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事

R７．０１

株式会社アックスクリエート

■　図面リスト

図面番号	図 面 名 称	縮　尺	図面番号	図 面 名 称	縮　尺	図面番号	図 面 名 称	縮　尺
A-01	改修特記仕様書　その１		A-23	改修　立面図＜東側車庫棟＞	S=1/100	参考図	既存図面一式(北側車庫棟) ※建築意匠・建築構造	
A-02	改修特記仕様書　その２		A-24	既存　断面詳細図１＜東側車庫棟＞	S=1/30	参考図	既存図面一式(東側車庫棟) ※建築意匠・建築構造・消防設備	
A-03	改修特記仕様書　その３		A-25	改修　断面詳細図１＜東側車庫棟＞	S=1/30			
A-04	改修特記仕様書　その４		A-26	既存　断面詳細図２＜東側車庫棟＞	S=1/30			
A-05	改修特記仕様書　その５		A-27	改修　断面詳細図２＜東側車庫棟＞	S=1/30			
A-06	改修特記仕様書　その６		A-28	既存　建具表＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-07	配置図・仮設計画図・付近見取図	S=1/400	A-29	改修　建具表＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-08	既存　平面図＜北側車庫棟＞	S=1/100	A-30	部分詳細図	S=1/5･10･20･50			
A-09	改修　平面図＜北側車庫棟＞	S=1/100						
A-10	既存　立面図１・建具表＜北側車庫棟＞	S=1/100						
A-11	改修　立面図１・建具表＜北側車庫棟＞	S=1/100						
A-12	既存　立面図２＜北側車庫棟＞	S=1/100	E-01	既存　電灯設備配線図＜北側車庫棟＞	S=1/100			
A-13	改修　立面図２＜北側車庫棟＞	S=1/100	E-02	改修　電灯設備配線図＜北側車庫棟＞	S=1/100			
A-14	既存　断面詳細図＜北側車庫棟＞	S=1/30	E-03	既存　１階電灯設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-15	改修　断面詳細図＜北側車庫棟＞	S=1/30	E-04	改修　１階電灯設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-16	既存　仕上表＜東側車庫棟＞		E-05	既存　２階電灯設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-17	改修　仕上表＜東側車庫棟＞		E-06	改修　２階電灯設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-18	既存　１階平面図＜東側車庫棟＞	S=1/100	E-07	既存　自動火災報知設備系統図＜東側車庫棟＞				
A-19	改修　１階平面図＜東側車庫棟＞	S=1/100	E-08	既存　１階自動火災報知設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-20	既存　２階平面図＜東側車庫棟＞	S=1/100	E-09	改修　１階自動火災報知設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-21	改修　２階平面図＜東側車庫棟＞	S=1/100	E-10	既存　２階自動火災報知設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			
A-22	既存　立面図＜東側車庫棟＞	S=1/100	E-11	改修　２階自動火災報知設備配線図＜東側車庫棟＞	S=1/100			

鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事　改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1. 工事場所　山形県鶴岡市下名川字落合１番地ほか

2. 敷地面積　９，４４６．７２㎡

3. 工事種目

1）北側車庫棟　鉄骨造　地上１階建　改修　一式

建築面積	１９８．９７　㎡
延べ面積	１９８．９７　㎡

2）東側車庫棟　鉄骨造　地上２階建　改修　一式

建築面積	５４０．６３　㎡
延べ面積	５６０．４７　㎡
１階	５００．８５　㎡
２階	５９．６２　㎡

4. 工事内容

1）北側車庫棟　鉄骨造　地上１階建
基礎巾木コンクリート補修／既存オーバースライダー塗り替え
外壁張り替え（開口枠、水切り、下地共）／外部建具交換／折板屋根葺き替え（カバー工法）
北側胴縁の交換／照明器具交換（ＬＥＤ化）／分電盤の更新／ブルボックスの新設

2）東側車庫棟　鉄骨造　地上２階建
基礎巾木コンクリート補修／既存オーバースライダー塗り替え
外壁張り替え（開口枠、水切り、下地共）※外壁防火構造／外部建具交換 ※一部防火設備
折板屋根葺き替え（大屋根部：カバー工法、下屋部：全面葺き替え）
東側胴縁の交換 ※一部照明器具交換（ＬＥＤ化）／分電盤の更新／既存換気交換扇
消防設備（火災報知設備盤の取外し・再取付）
内部倉庫への改修（木製建具交換、損製建具交換、床・壁・天井の新設）
内部既存トイレの改修（床・壁・天井の新設）※既存衛生設備等の撤去含む

5. 指定部分　・有　⊙無　対象部分（　　）
指定部分工期　　年　　月　　日

6. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記のとおりとする。

Ⅱ．建築改修工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和 4年版（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。

○建築工事標準詳細図（令和 4年版）（以下「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、⊙ 印のついたものを適用する。
2) 特記事項は、⊙ 印のついたものを適用する。
⊙ 印のついない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙ 印と ◎ 印のついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5) ⓖ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項目	特記事項

1 各章共通事項

⊙ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙風圧力
風速（Vo=　３２　m/s）
地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）
⊙積雪荷重
鶴岡市 積雪量 250cm(平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域)
別表（　　）

⊙ 施工条件　(1.3.5)[1.3.5]

⊙施工順序
（※現場説明書による　・図示　　）
⊙工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所
（⊙図示　　）

⊙ 環境への配慮　(1.4.1)[1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⊙ 材料の品質等　(1.4.2)[1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル（タイル工事用）、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、鋼前開、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、埋安用成形ライニング材、天井点検口、
床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた

・ 石綿含有建材の調査　[1.5.1]

※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料（・アスベスト関係材料調査票　・既存図面　・　　）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 (JIS A 1481-3)、(JIS A1481-4) または (JIS A 1481-5)
	・　（箇所）	・　（箇所）
	・　（箇所）	・　（箇所）
	・　（箇所）	・　（箇所）

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・図示による

・ 化学物質の濃度測定　(1.5.9) [1.7.9]

1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、 エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
2) 測定対象室及び測定箇所数等は現場説明書による。
3) 測定方法は、現場説明書による。
4) 測定結果の報告は、現場説明書による。

・ 埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事
6章および8章による
コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管　・配線等の位置の墨出を行う
範囲
※図示による
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数　　枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ　　cm

2 仮設工事

・ 騒音・粉じん等の対策　[2.1.3]

・防音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・図示による

⊙ 足場等　[2.2.1][表 2.2.1]

「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
⊙設置する
（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・図示による　・　　）
・設置しない
防護シート
⊙設置する
（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・図示による　・　　）
・設置しない
内部足場
⊙設置する
（※脚立、足場板等　・　　）
・設置しない
⊙材料、撤去材等の運搬方法
種別：A種　⊙B種　・C種　⊙R種　・E種 ）
C種：利用可能なエレベーター　（・図示による　・　　）
D種：利用可能な階段　（⊙図示による　・　　）

⊙ 既存部分の養生　[2.3.1]

⊙既存部分
養生方法（※ビニルシート、合板　・　　）
⊙既存家具、既存設備等
養生方法（※ビニルシート等　・　　）
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法（・ビニルシート等　・　　）
保管場所（・図示による　・　　）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・ 仮設間仕切り　[2.3.2][表 2.3.1]

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
・図示による
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さ mm）	塗装	充填
・A種	・せっこうボード 種類（・　　） 厚さ（・　mm　※9.5mm） ・合板 材種（・　　） 厚さ（・　mm　※9mm） ・	・無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ　mm
・B種			
※C種	防煙シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・無し	・　か所
・	・	・片面	・図示による

3 防水改修工事

・ 施工数量調査　[1.6.2、3]

調査範囲
・図示による　・改修範囲
調査方法
・図示による　・目視
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書（提出部数　・2部　・　　）

・ 降雨等に対する養生方法（とい共）　※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　[3.1.3]

・ 既存防水の処理　[3.1.4] [3.2.3、4、6]

既存保護層の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　　）
・行わない
既存防水層の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　　）
・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS　・M4AS1　・M4C　・M4D1　・L4X）
・行わない

・ 既存下地の処理　[3.2.6]

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・図示による
PDS工法及びFPDS1工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(ｷ)①～③による
・
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

・ アスファルト防水

屋根保護防水（既存 ）　[3.3.2～5]
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	絶縁用シート
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ｱﾙﾐﾗﾐﾈｰﾄﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上 又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・
・P1B	・B-1 ・B-2			
・P2AⅠ	・AⅠ-1 ・AⅠ-2 ・AⅠ-3		（種類） ※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き） （厚さ）(mm) ・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・
・P1BⅠ	・BⅠ-1 ・BⅠ-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上

床タイル張り　※水下　60mm以上

立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネル１類（厚さ　　(mm)　幅　　(mm)）
・れんが押え（※JIS R 1250　・　　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　　（個）

屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層　・設ける（※図示による　・　　）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L=30×15×2.0mm程度

屋上排水溝
※図示による

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042　鶴岡市新形町24-1
TEL　0235-24-3216　FAX　0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）　[3.4.2、3]

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・適用する	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3AS1 ・M4AS1 ・P0AS1	・AS1-T1 ・AS1-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(ｳ) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・

設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

・合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種別　[3.5.2~4]［表3.5.1~3］

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・P0S ・S4S	・S-F1			・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・S-F2					・適用する	
	・S-M1			・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する	
	・S-M2					・適用する	
・S3S	・S-F1	・プレキャストコンクリート下地		・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2	・プレキャストコンクリート下地				・適用する	
・M4S	・S-M1			・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-M2					・適用する	

・塗膜防水

・P0S1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1	・プレキャストコンクリート下地	改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(b) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・　・25　・50	・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・S1-F2	・プレキャストコンクリート下地				・適用する	
	・S1-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(ｴ)(a) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・　・25　・50	・ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様	・適用する	
	・S1-M2					・適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種　類
厚さ　・　mm以上
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様

設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合）
・行う（・図示による　・　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

新設防水層の種別　[3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水G	備考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様

設置数量　※主材料の製造所の仕様
・　（個）

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

・ポリウレア樹脂吹付工法
新設種別：密着工法
施工場所：潜水訓練槽、プールサイド
仕上塗料種類・使用量：主材料の製造所の仕様
プール表示塗装：アクリルウレタン樹脂系保護塗料
主材料の製造所の仕様

表示	サイズ	数量	色
ライン	幅：200mm	15.5m	標準色（白・黒・紺）
文字	300角	16字	標準色（白・黒・紺）

⊙ シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.1.4]［3.7.2、3、7、8］
⊙シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・適用する　・適用しない
エッジング材張り
・適用する　・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外壁・屋根	MS-2
サッシ廻り	MS-2

仕上げを行わない施工箇所
・図示による
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

⊙ とい

といその他の材種　[3.8.2、3]
・配管用鋼管
⊙硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　）
・
とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品

取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※1☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
・
ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び				施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100	・125	・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100	・125	・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		
⊙改修用ドレンたて型	⊙差し込み式	⊙80				プールサイド

たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

・アルミニウム製笠木

種類　[3.9.2、3]
・オープン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形　⊙押出225形）
・板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式）
本体幅（　　）mm　板厚（※2.0mm　・　mm）
表面処理
種別（　BB-1　）種
色合等　・標準色（　シルバー　）　・特注色（　　）
既存笠木等の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　）
・行わない
下地補修の工法
※図示による
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

4 外壁改修工事（共通事項）

⊙ 下記の適用

⊙ 施工数量調査

内部指揮コーナーRC壁・天井仕上改修にも適用する

調査範囲　[1.6.2、3]
⊙外壁改修範囲
・図示による
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書（提出部数　⊙2部　・　）

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

・ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4]［4.2.4、5、6、7］

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・	
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・	
	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・	

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満	
	0.3以上～0.5未満	
	0.5以上～1.0未満	
	1.0超過	
・シーリング材	1.0超過～1.5未満	
	1.5以上～2.0未満 ・	
	以上～未満	

・シーリング材
充填材の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

・欠損部改修工法

・充填工法　[4.1.4]［4.2.4、7］

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数(=)
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満		
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満		
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

・ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4]［4.3.5、6、7、8］

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・	図示
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40	
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70	
	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130	

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による

MEMO
一級建築士 石井 裕樹 大臣登録 第292601号

REVISION

TITLE
鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事

D.N
改修特記仕様書　その2

SCALE
1：400

SHEET NO
A－02

DAY　R07.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042　鶴岡市新形町24-1
TEL　0235-24-3216　FAX　0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3 未満	
	0.3以上～0.5 未満	
	0.5以上～1.0 未満	
	1.0 超過	
・シーリング材	1.0超過～1.5 未満	
	1.5以上～2.0 未満	
	以上～未満	

・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	

⊙ 欠損部改修工法

・充填工法　[4.1.4] [4.3.9、10]

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数 (-)
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満		
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満		
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

・モルタル塗替え工法

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数 (-)
・現場調合材料			
・既調合材料			

・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

・ 浮き部改修工法　[4.1.4] [4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16・	※25・	―	―	※25・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※25・		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※50・		
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	―	―	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※50・		
・充填工法	―	―	―	―	―		
・モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―	14.8	

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化量 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/?)	曲げ性能 (材齢28日) (N/?)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/?)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00
充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　ポリマーセメントモルタル　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による

4-3 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

・ タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	耐久区分	うわぐすり	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑り性
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

・ ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.4.5、6]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300・	・130・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100・	・40・	
	0.3以上～0.5未満	・100～200・	・70・	
	0.5以上～1.0未満	・150～250・	・130・	

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
・図示による

・ 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　[4.1.4][4.4.5、7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・ 浮き部改修工法　[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部	アンカーピンの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16・	※25・	―	―	※25・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※25・		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※50・		
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	―	―	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※50・		
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	―	―	※25・		
・タイル部分張り替え工法	―	―	―	―	―		
・タイル張り替え工法	―	―	―	―	―		

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
・

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル　（・現場調合材料　　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.5.1による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り　　・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り　　・モザイクタイル張り
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・ 目地改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]

・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法
・図示による
シーリングは、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による。

4-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

⊙ 下記の適用
⊙ 既存塗膜等の除去
下地処理及び下地調整

内部指揮コーナーRO壁・天井仕上改修にも適用する。

[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	⊙ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
⊙高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

⊙ 下地調整塗材　[4.5.2]
※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル

・ 仕上塗材仕上げ　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]
新規仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り	
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・
	・凹凸状	・吹付け	
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ｱｸﾘﾙｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ｱｸﾘﾙｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ｱｸﾘﾙｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・可とう形改修用仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・さざ波状	・ローラー塗り			
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・ マスチック塗材塗り　[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]
種別
・A種　・B種

⊙ 外壁用塗膜防水材塗り　[4.1.5][4.7.2,3][表4.7.1]
仕上げの形状
・
工法
・仕上一体型塗膜防水／大関化学工業(株)パライージー
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
⊙適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

6 内装改修工事

⊙ 改修範囲　[6.1.3]
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

⊙ 既存床の撤去及び下地補修　[6.2.2]
ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による　⊙床改修範囲

・ 既存壁の撤去及び下地補修　[6.3.2]
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示による）
・

MEMO
一級建築士 石井 裕樹 大臣登録 第292601号

REVISION

TITLE
鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事

D.N
改修特記仕様書　その3

SCALE
1：400

SHEET NO
A－03

DAY R07.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

○ 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による
・

・製材 G

・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級・	※A種 ・B種		・
		※2級・	※A種 ・B種		・
		※2級・	※A種 ・B種		・

・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節・	※A種 ・B種		・
見え掛り面以外		※小節以上・	※A種 ・B種		・
					・

・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法（mm）	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等・	※10%以下 ・A種 ・B種		・
		※1等・	※10%以下 ・A種 ・B種		・
		※1等・	※10%以下 ・A種 ・B種		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種・	・
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種・	・
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種・	・

・造作用集成材 G

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下・	・
				※15%以下・	・
				※15%以下・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下・	・

・造作用単板積層材 G

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
							・

・合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ（mm）	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上・	※12・	・適用する ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
		※13タイプ・	※P又はM・		※15・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・MDF G

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

・接合具等

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3-5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度）
・ （形状： 寸法： 材質： ）

○ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6.5.3、4]
※F☆☆☆☆
・

・防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（ ）

・内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.6]
※杉又は松
・
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・

・窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) [6.5.7]
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

○ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 [6.6.2～4]
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による
周辺部の端からの間隔
・図示による
野縁の間隔
・図示による
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（ ）N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）

○ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4] [表6.7.1]
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による
・

・ビニル床シート G

[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ）・	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0・	

接合部の処理
※熱溶接工法

・ビニル床タイル G

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450・	※2.0 ・3.0	
・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450・	・2.0 ・	
・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・500×500・	・4.0 ・	
・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

・特殊機能床材

・帯電防止床シート [6.8.2]
種類 （ ）
性能 （ ）
厚さ(mm)（ ）
・帯電防止床タイル
種類 （ ）
性能 （ ）
寸法(mm)（ ）×（ ）
厚さ(mm)（ ）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類 （ ）
形状 （ ）
・耐動荷重性床シート
種類 （ ）
厚さ(mm)（ ）
・防滑性床シート
種類 （ FS ）
厚さ(mm)（ 2.5 ）
位置（ 玄関、指揮コーナー ）
・防滑性床タイル
種類 （ ）
寸法(mm)（ ）×（ ）
厚さ(mm)（ ）
○防滑・遮熱性屋外対応床シート
種類 （ FS ）
厚さ(mm)（ 2.5 ）
位置（ プールサイド ）
下地（ 塗膜防水 ）
備考（ カタログ掲載価格5,500円/㎡（税抜）程度 ）

○ ビニル幅木

材質の種類 [6.8.2]
・軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上

・ゴム床タイル

種類 [6.8.2]
・単層品 ・積層品
色柄 （ ）
厚さ(mm)
・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ ）×（ ）

・カーペット敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3] [表6.9.1]

織り方	パイル形状	備考（参考価格）
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル	

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考（参考価格）
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・5～7 ・4～6 ・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第212号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考（参考価格）
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※図示による

MEMO
一級建築士、石井、指摂、大臣登録、第292601号

REVISION

TITLE
鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事

D.N
改修特記仕様書 その4

SCALE
1：400

SHEET NO
A－04

DAY R07.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

○ 合成樹脂塗床 [6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
○薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・ フローリング張り G [6.11.2～6]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆

・単層フローリング （フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※ な ら
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・単層フローリング （フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※ な ら
種別
・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

接着工法の場合の不陸調和材
※合成樹脂発泡シート
・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・ 畳敷き 種別 [6.12.2]
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1 ・C2）

○ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3]
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
表面への化粧張り等の加工
※図示による

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	※図示による ・15 ・20 ・25
・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による ・6 ・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による	※ 図 示 に よ る

繊維板 G

・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-1B） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18

ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G

・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による ・10（難燃） ・12（難燃）

吸音材料

・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸タイプ	・9 （不燃） ・12（不燃） ・12（不燃） ・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による ・25
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※12.5（不燃） ・15（不燃）
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	・12.5（・不燃 ・準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	・12.5（不燃） ・15（不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	・9.5
○不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ○化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾃﾝ模様）	○8.5（不燃）

合板類

・普通合板 G 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類の張付け
・A種 ・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ ・スクェアエッジ
化粧加工の方法（・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ）

・ 壁紙張り ホルムアルデヒド放散量 [6.14.2、3]
※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考(参考価格)
	紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種

○ モルタル塗り モルタル [6.15.3、5、6]
○現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（ ） 形状（※図示による ・ ）
○設けない

床の目地
・設ける
目地割り
※2m程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
○設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
○図示による

・ タイル張り 伸縮目地の位置 [6.16.2～4]
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
・図示による
・
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
・行う（施工箇所： ） ・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による） ・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）
壁タイル張りの工法
内装タイル
・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り ・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・ セルフレベリング材塗り 塗厚（mm） [6.17.2、3]
・

7 塗装改修工事

○ 材料 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（施所： ）

○ 下地調整 塗替え用RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1～7]
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存鋼止め塗料の鉛含有量調査
・行う（ 箇所）
○行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	―
鉄鋼面	※RB種	―
亜鉛めっき鋼面	※RB種	―
亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具等）	※RB種	―
モルタル面及び せっこうプラスター面	※RB種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)、 ALCパネル面	※RB種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB種	―

○ 素地ごしらえ (7.3.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面（DP）		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種 ・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・A種 ・B種
コンクリート面（DPのみ）		※B種 ・A種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：縦目処理工法	※A種 ・B種
	目地：縦目処理工法以外	※B種 ・A種

○ 錆止め塗料塗り 錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	A種	※C種
		新規見え掛り	A種	※A種
		新規見え隠れ	A種	※B種
	EP-G （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※B種 ・A種	※C種
		新規見え掛り	※B種 ・A種	※A種
		新規見え隠れ	※B種 ・A種	※B種
	DP （工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による。	・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による。	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※A種 ・B種	※C種
		新規 鋼製建具等	※A種 ・B種	※A種
		新規 その他	※B種	※B種
	EP-G （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	C種	※C種
		新規 鋼製建具等	C種	※A種
		新規 その他	C種	※B種
	DP （工程の種別は表7.4.6）	塗替え	B種	―
		新規	B種	―

○ 塗装 [7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗装の種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種 ・A種
	鉄鋼面	※B種	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種	※B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種 （着色塗料の種類： ）	※B種 ・A種 （着色塗料の種類： ）
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ○A種	※B種 ・A種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級	○ 上塗り塗料の等級(1級)ｶﾞﾗｽ素	―
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	―
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・A種
	屋内の木部	※B種	※A種
	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・A種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種 ・B種
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種	※B種 ・A種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	※B種 ・A種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又は C種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又は C種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）
※RB種 ・RA種 ・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量 (kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等

MEMO
一級建築士 石井 指摂 大原泉錬 第292601号

REVISION

TITLE 鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事

D.N 改修特記仕様書 その5

SCALE 1：400

SHEET NO A－05

DAY R07.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

9 環境配慮改修工事

・石綿含有建材の除去工事

・石綿粉じん濃度測定 [9.1.3～6]

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　　点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　　点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　　点
・	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計　　点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計　　点
・	測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　　点
・	測定 7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　　点
・	測定 8	処理作業後	処理作業室内	・計　　点
・	測定 9	（シート撤去後1週間以降）	調査対象室外部の付近	・計　　点

測定方法

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲

・図示による

除去工法

※改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による

・

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去

除去対象範囲

・図示による

除去工法

・破砕して除去　・手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化　・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去

除去対象範囲

・図示による

隔離養生（負圧不要）方法

・図示による

足場

・図示による

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

・埋立処分(安定型最終処分場)

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・

⊙石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去

除去対象範囲

・図示による　・

除去した石綿含有成形板の処分

⊙石綿含有せっこうボード

※埋立処分(管理型最終処分場)

⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板

⊙埋立処分(安定型最終処分場)

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去

除去対象範囲

・図示による　・外壁 RC面 複層塗材E　・内壁 指揮コーナー RC面 複層塗材E

・天井 指揮コーナー RC面 複層塗材E

除去工法

・湿式集塵装置付ディスクグラインダー工法

養生方法

・養生シート

除去した石綿含有仕上塗材の処分

・埋立処分(安定型最終処分場)

・埋立処分(管理型最終処分場)

・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事

・図示による

・断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書3章による。 [9.2.2～3]

・外断熱改修工事 G

断熱材 [9.2.1～4]

断熱材の種類

・

断熱材の厚さ(mm)

・

施工箇所

・図示による

ホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材

改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による。

笠木

改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による。

既存外壁の処置

既存外壁仕上材の撤去

・行う　・行わない

下地面の清掃

・行う　・行わない

欠損部の改修工法

・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による

・

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

不陸等の下地調整

・

断熱材の施工

・断熱材製造所の仕様による

・

外装材の施工

・外装材製造所の仕様による

・

透気層の有無

・有（　　mm）　・無

外装材の外壁への取付け

・図示による

笠木の施工

・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による

・

⊙ 断熱・防露改修工事 G

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2～4]

※F☆☆☆☆

開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

工法

・断熱材打込み工法

断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種 類

厚 さ(mm)

施 工 場 所

・断熱材現場発泡工法

断熱材の種類

・A種1　・A種1H

吹付け厚さ (mm)

・25　・30

施工箇所

・図示による

・断熱材後張り工法

断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種 類

厚 さ(mm)

・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル

材 質

厚さ　・　(mm)

・張り付け工法

断熱材の張り付け工法

断熱材へのボードの張付け工法

・屋上緑化改修工事 G

植栽基盤及び材料 [9.4.2～4]

・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等

※図示による

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

※図示による

(品質・性能、試験方法は別表による)

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力対応した工法

かん水装置

・設置する（種類　・　　）

既存保護層の撤去

・行う　・行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間

※引渡しの日から1年

・

・透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道 [9.5.2～5、9]

既存舗装の撤去及び再利用

※図示 に よる

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示による ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示による ・

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

・行う　・行わない

・路床安定処理

・適用する　・適用しない

安定処理の方法

・置き換え工法

・安定処理工法

路床安定処理用添加材料

種類

・普通ポルトランドセメント

・高炉セメントB種 G

・フライアッシュセメントB種

・生石灰（・特号　・1号）

・消石灰（・特号　・1号）

添加量

・　　kg/? （目標CBR　・3以上　・　　）

目標CBRを満足する添加量の確認方法

・安定処理土のCBR試験

・

・ジオテキスタイル

単位面積質量

・60g/㎡以上

厚さ(mm)

・0.5～1.0　・

引張強さ

・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

・1.5×10' cm/sec以上

試験

路床土の支持力比 (CBR) 試験

・行う　・行わない

路床締固め度の試験

・行う　・行わない

現場CBR試験

・行う　・行わない

路盤

路盤の厚さ

・図示による　・

路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）

・クラッシャラン

・粒度調整砕石

・再生クラッシャラン G

・再生粒度調整砕石 G

・クラッシャラン鉄鋼スラグ G

・粒度調整鉄鋼スラグ G

・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

舗装の構成

・図示による

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・行う　・行わない

舗装の平たん性

※著しい不陸がないもの

・

14 金属工事

⊙ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB-1種		
・AB-2種	・標準色 ・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種	・標準色 ・特注色	
・BA-1種		
・BA-2種	・標準色 ・特注色	
・BB-1種		スキマー蓋板
⊙BB-2種	⊙標準色 ・特注色	鋼製建具
・BC-1種		
・BC-2種	・標準色 ・特注色	
・C種	・標準色 ・特注色	

陽極酸化皮膜の着色方法

※二次電解着色

・三次電解着色

20 ユニット及びその他の工事

・EXP. Jカバー

材質	耐火性能	建築物間のクリアランス(mm)	変位追従量(mm)	耐火性能	断熱性能
・アルミニウム製 ・ステンレス製	2階	・50 ・100 ・150 ・	(避難経路の床等) ・　以上 (その他) ・　以上	・有り (　) ・無し	・有り (　) ・無し

外部に設置するものは、防水型とする。

エキスパンションジョイントカバーには、脱落防止措置を講ずる。

表面仕上

アルミニウム製　・BB-1種

ステンレス製　・ヘアライン

MEMO

一級建築士：石井　裕樹　大臣免許　第292601号

REVISION

TITLE 鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事

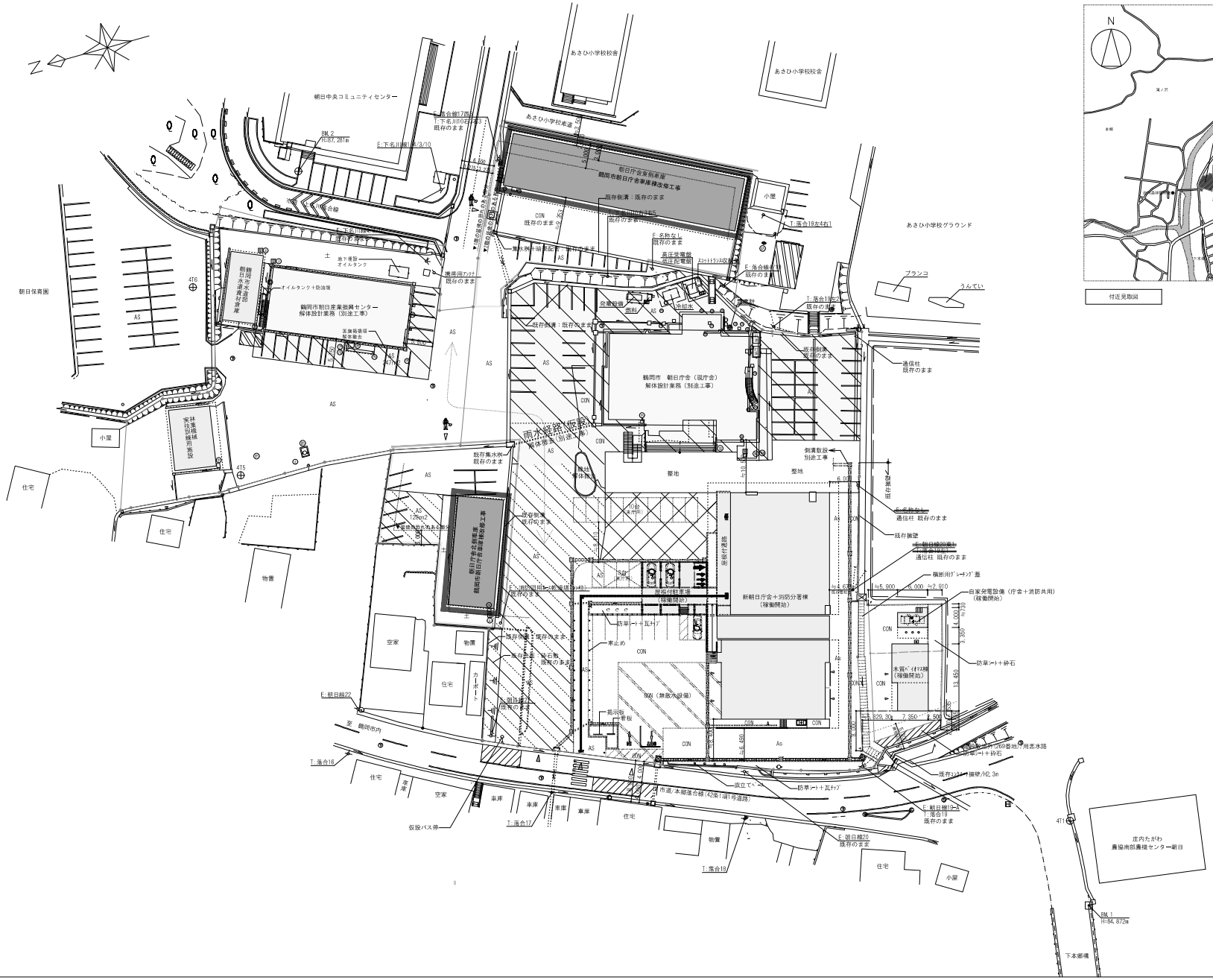
D.N 改修特記仕様書　その6

SCALE 1：400

SHEET NO A－06

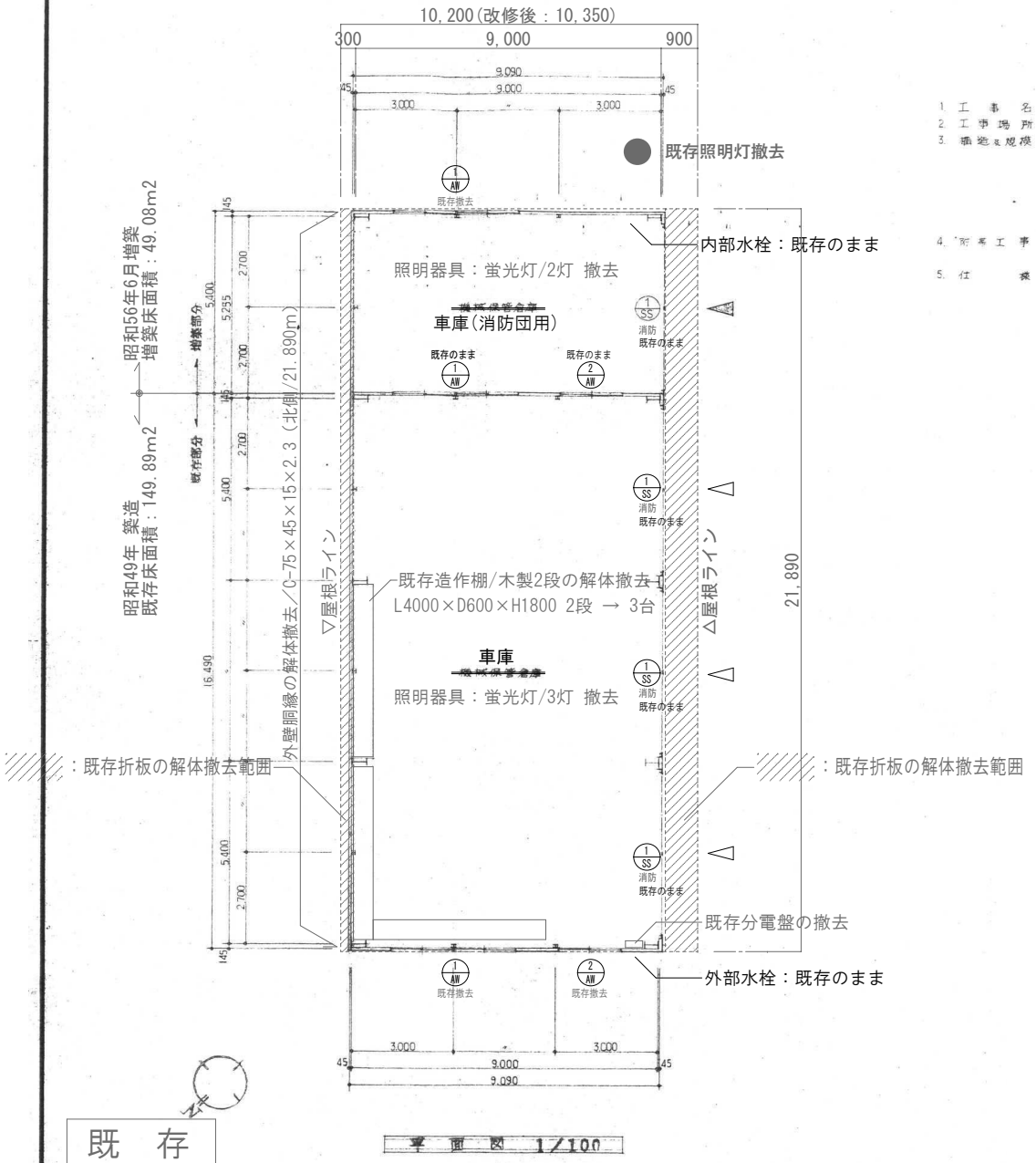
DAY R07.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042　鶴岡市新形町24-1
TEL　0235-24-3216　FAX　0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号



MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
一級建築士 佐藤 源保 大臣登録 第110682号 一級建築士 石井 裕崇 大臣登録 第292601号		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	配置図・仮設計画図・付近見取図	1：400	A－07 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号



平面図 1/100

昭和56年増築時／平面図

設　計　書

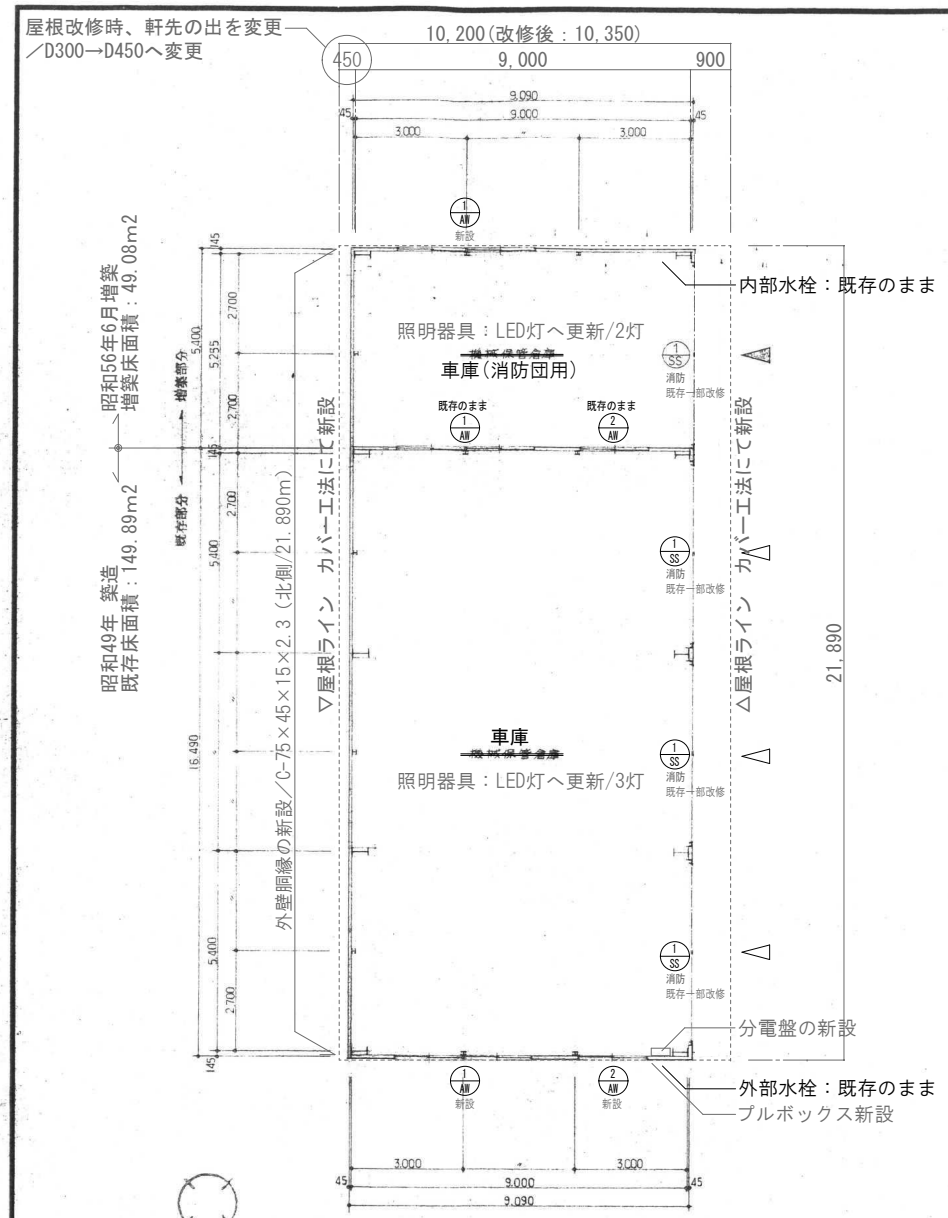
1. 工　事　名　山村林業構造改善事業
朝日村森林組合 造林施設 機械保管倉庫 併設工事
2. 工事場所　東田川郡朝日村大字下名川地内
3. 構造及規模　機械保管倉庫　鉄骨造平家建　増築
建築床面積　（建築面積）
増築部分　49.08 m²
既存部分　149.89 m²
合　計　198.97 m²
4. 附帯工事　電気設備工事
5. 仕　様　設計書及び設計図面の通り
特記の他は建設省建築工事共通仕様書に準ずる

○消防法の有窓無窓算定
1階床面積：198.97m2／30＝ 6.63m2 ≦ 67.88m2 有窓
南面（SS-1） 16.97m2×4ヶ所＝ 67.88m2
67.88m2

※既存ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ(手動)の取扱いについて
現状、錠前が設置されているが、施錠はせずに利用する

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	既存 平面図 ＜北側車庫棟＞	1：100	A-08 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号



昭和56年増築時／平面図

設 計 書

山村林業構造改善事業

1. 工 事 名　朝日村森林組合 造林施設 機械保管倉庫 併設工事
2. 工事場所　東田川郡朝日村大字下名川地内
3. 構造及規模　機械保管倉庫　鉄骨造平家建　増築
   建築床面積　(屋根面積)
   増築部分　49.08 m²
   既存部分　149.89 m²
   合　計　198.97 m²
4. 附帯工事　電気設備工事
5. 仕　様　設計書及び設計図面の通り
   特記の他は建設省建築工事共通仕様書に準ずる

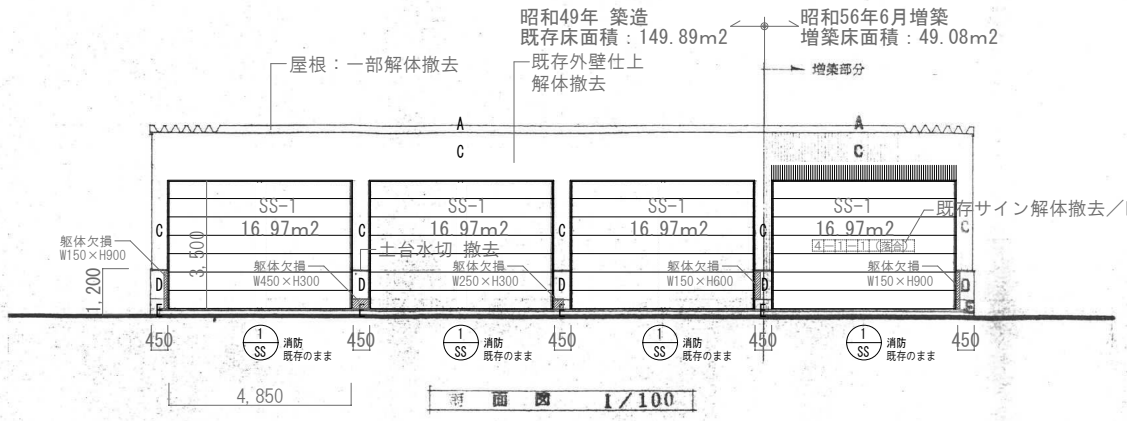
改 修 外 装	屋 根 ：カバー工法／丸馳折版Ⅰ型 ｶﾗｰGL鋼板 t 1.0、ｹﾗﾊﾞ包み ｶﾗｰGL鋼板 t 0.6曲げ加工 雪止め L-50×50×4／亜鉛ﾒｯｷ処理 2段　折版裏 ﾌｫﾝｴｰｽ t 4.0(NM-0758) 外 壁 ：既存解体撤去の上、新設／角波ｶﾗｰ鉄板 t 0.4　GB-R t 12.5＋透湿防水ｼｰﾄ下地 ※北側外壁は既存胴縁を解体撤去の上、胴縁新設 軒 天 ：折版表し 外壁見切：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.4曲げ加工 3方枠（SS-1部）：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.5曲げ加工 土台水切：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.4曲げ加工 基礎巾木：仕上一体型塗膜防水／大関化学工業(株)パライージー ※躯体劣化部は無収縮ﾓﾙﾀﾙ補修の上、仕上げをすること と い ：横樋／折版用(大型)、縦樋／硬質塩ビφ100

○消防法の有窓無窓算定
1階床面積：198.97m2／30＝ 6.63m2 ≦ 67.88m2 有窓
南面（SS-1） 16.97m2×4ヶ所＝ 67.88m2
67.88m2

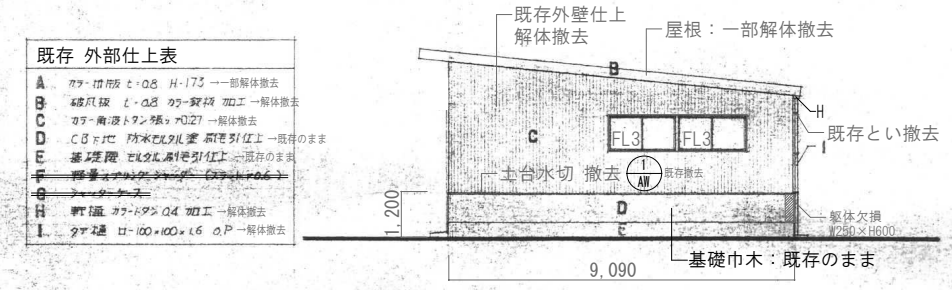
※既存ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ(手動)の取扱いについて
現状、錠前が設置されているが、施錠はせずに利用する

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	改修 平面図 ＜北側車庫棟＞	1：100	A-09 DAY R7.01

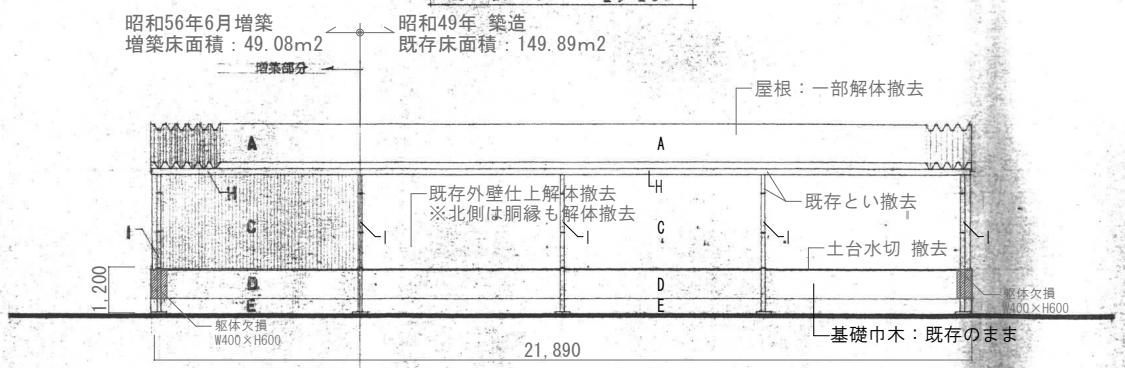
一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号
axcreate



南 面 図 1/100



東 面 図 1/100

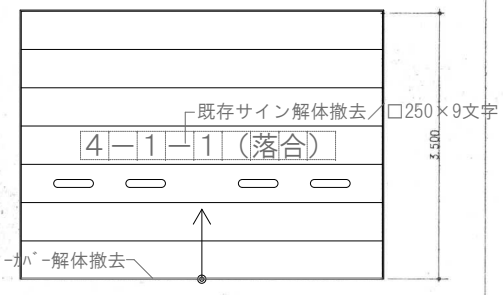
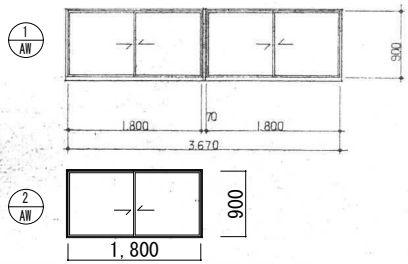


北 面 図 1/100

既存 外部仕上表

A	カラー鉄板 t=0.8 H-173 一部解体撤去
B	破風板 t=0.8 カラー鋼板 加工 一解体撤去
C	カラー角波トタン張り 0.27 一解体撤去
D	CBブロック 防水モルタル塗 刷毛引仕上 一既存のまま
E	基礎部 モルタル刷毛引仕上 一既存のまま
~~F~~	~~網戸ステンレスシャッター (スチール製)~~
G	シャッターケース
H	軒裏 カラートタン 0.4 加工 一解体撤去
I	竪樋 ロ-100×100×t6 0.P 一解体撤去

既存 建具リスト

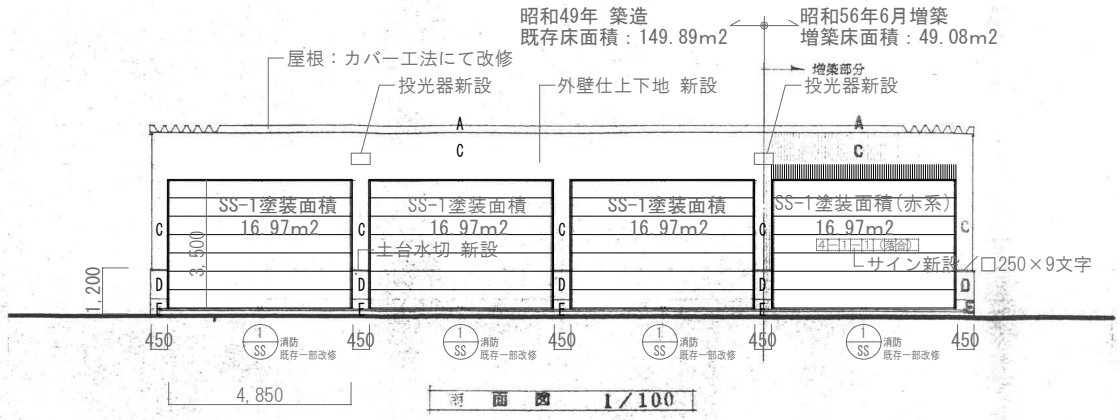
記号	SS 4ケ所
形状	
形式	スチール製オーバースライダー(手動)／R6.11時点 ~~軽量ステンレスシャッター スチール製 2連~~
ガラス	アクリル製（明り窓）
金物	附属金物一式
備考	スチール カラー（ホワイト） 既存サイン解体撤去／□250×9文字
記号	AW AW AW-1：3ケ所の内、2ケ所解体撤去 AW-2：2ケ所の内、1ケ所解体撤去 解体撤去
形状	
形式	引違窓 ※AW-1は連窓 見込70
ガラス	3mm トーメイG
金物	クレセント 連窓方立 二重水切 其他附属金物一式
備考	

既 存

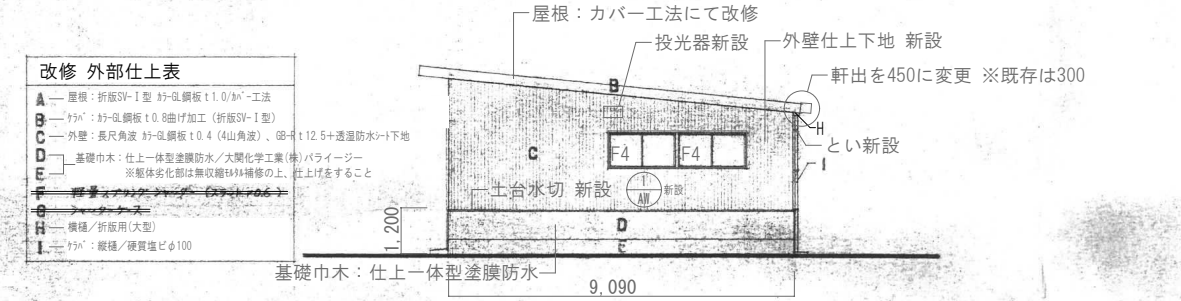
昭和56年増築時／立面図・建具表

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	既存 立面図1・建具表 ＜北側車庫棟＞	1：100	A-10 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号



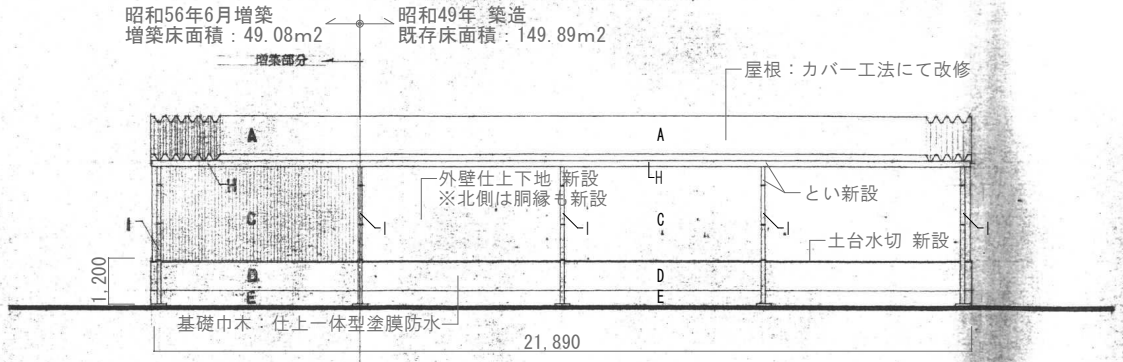
新 面 図 1/100



東 面 図 1/100

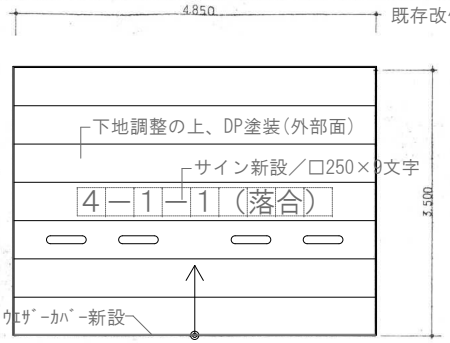
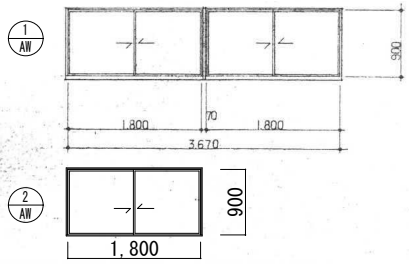
改修 外部仕上表

- A — 屋根：折版SV-Ⅰ型 ｶﾗｰGL鋼板 t 1.0/ｶﾊﾞｰ工法
- B — ｸﾗﾊﾞ：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.8曲げ加工（折版SV-Ⅰ型）
- C — 外壁：長尺角波 ｶﾗｰGL鋼板 t 0.4（4山角波）、GB-R t 12.5＋透湿防水ｼｰﾄ下地
- D — 基礎巾木：仕上一体型塗膜防水／大関化学工業(株)パライージー
- E — ※躯体劣化部は無収縮ﾓﾙﾀﾙ補修の上、仕上げをすること
- ~~F — 軽量ｼｬｯﾀｰ（ｽﾗｲﾄ06-1）~~
- ~~G — ｼｬｯﾀｰｹｰｽ~~
- H — 横樋／折版用(大型)
- I — ｸﾗﾊﾞ：縦樋／硬質塩ビφ100



北 面 図 1/100

改修 建具リスト

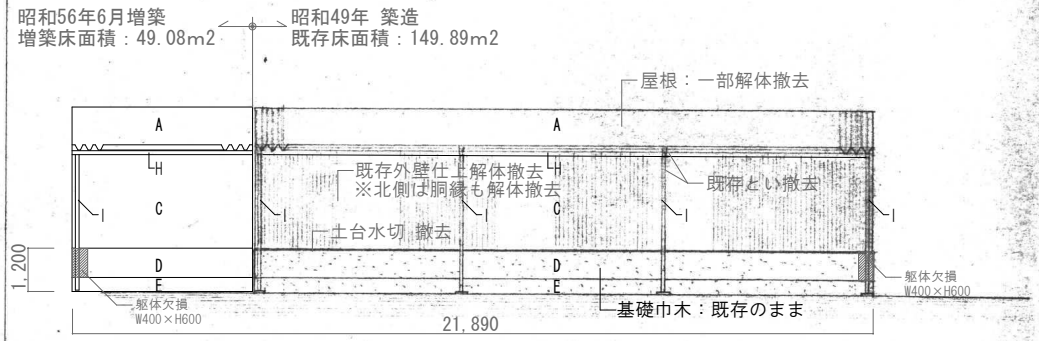
記号	1 SS　4ケ所
形状	
形式	ｽﾁｰﾙ製ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ（手動）／R6.11時点 ~~軽量ｼｬｯﾀｰ ｽﾗｲﾄ06-1 2連~~
ガラス	ｱｸﾘﾙ製（明り窓）
金物	附属金物一式
備考	ｽﾁｰﾙ カラー（ﾎﾜｲﾄ） ｻｲﾝ新設／□250×9文字
記号	1 AW　2 AW　AW-1：3ケ所の内、2ケ所新設 AW-2：2ケ所の内、1ケ所新設 新設
形状	
形式	引違窓 ※AW-1は連窓 見込70
ガラス	F4
金物	ｸﾚｾﾝﾄ、連窓方立、附属金物一式
備考	

改 修

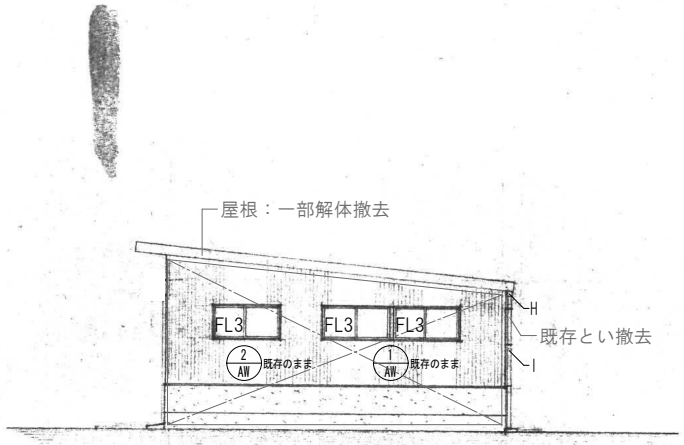
昭和56年増築時／立面図・建具表

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	改修 立面図1・建具表 ＜北側車庫棟＞	1：100	A-11 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号
axcreate

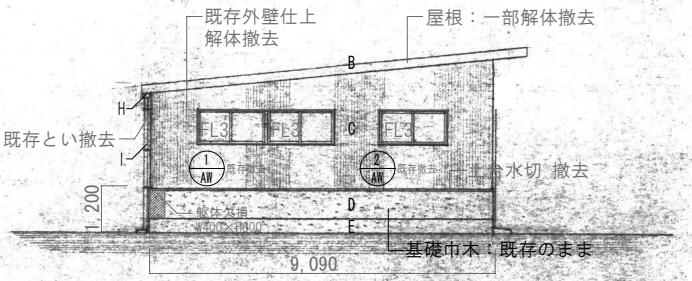


北側立面図 S=1/100

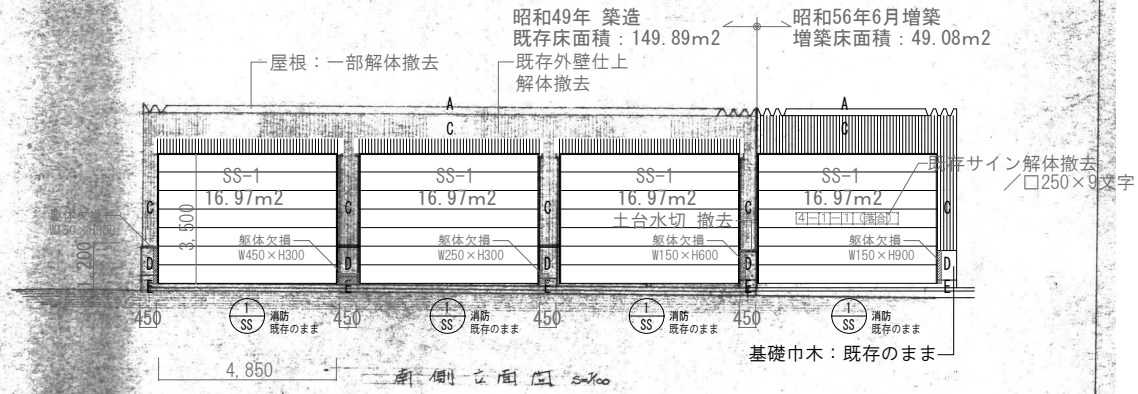


※内部間仕切壁として残置/R6.11時点

東側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100

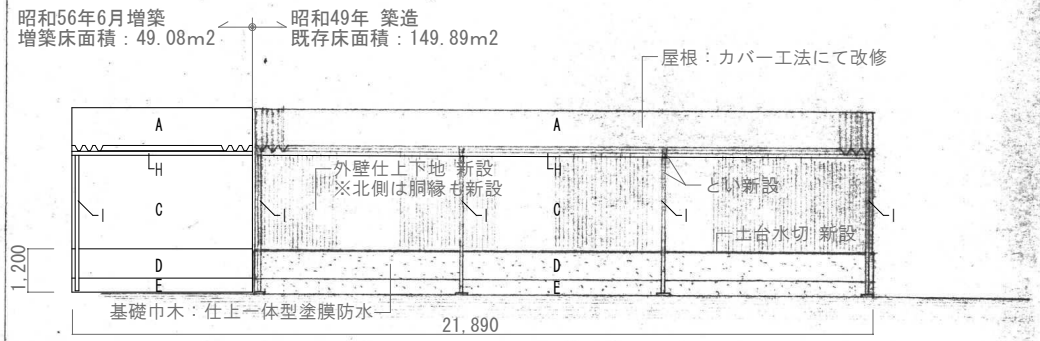
既　存

昭和49年竣工時／立面図

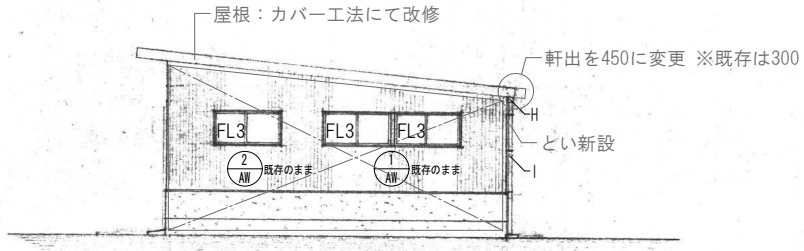
立面図 1/100

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	既存 立面図2 ＜北側車庫棟＞	1：100	A-12 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

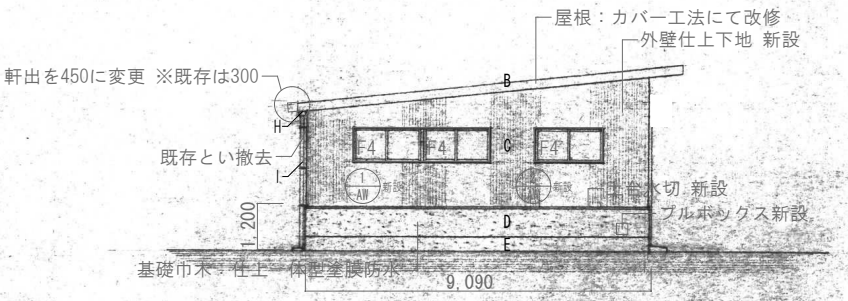


北側立面図 S=1/100

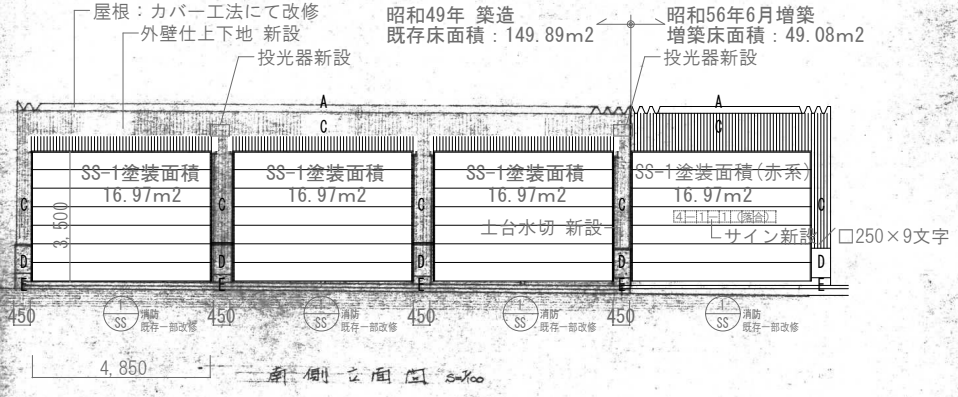


※内部間仕切壁として残置/R6.11時点

~~東側立面図 S=1/100~~



西側立面図 S=1/100



南側立面図 S=1/100

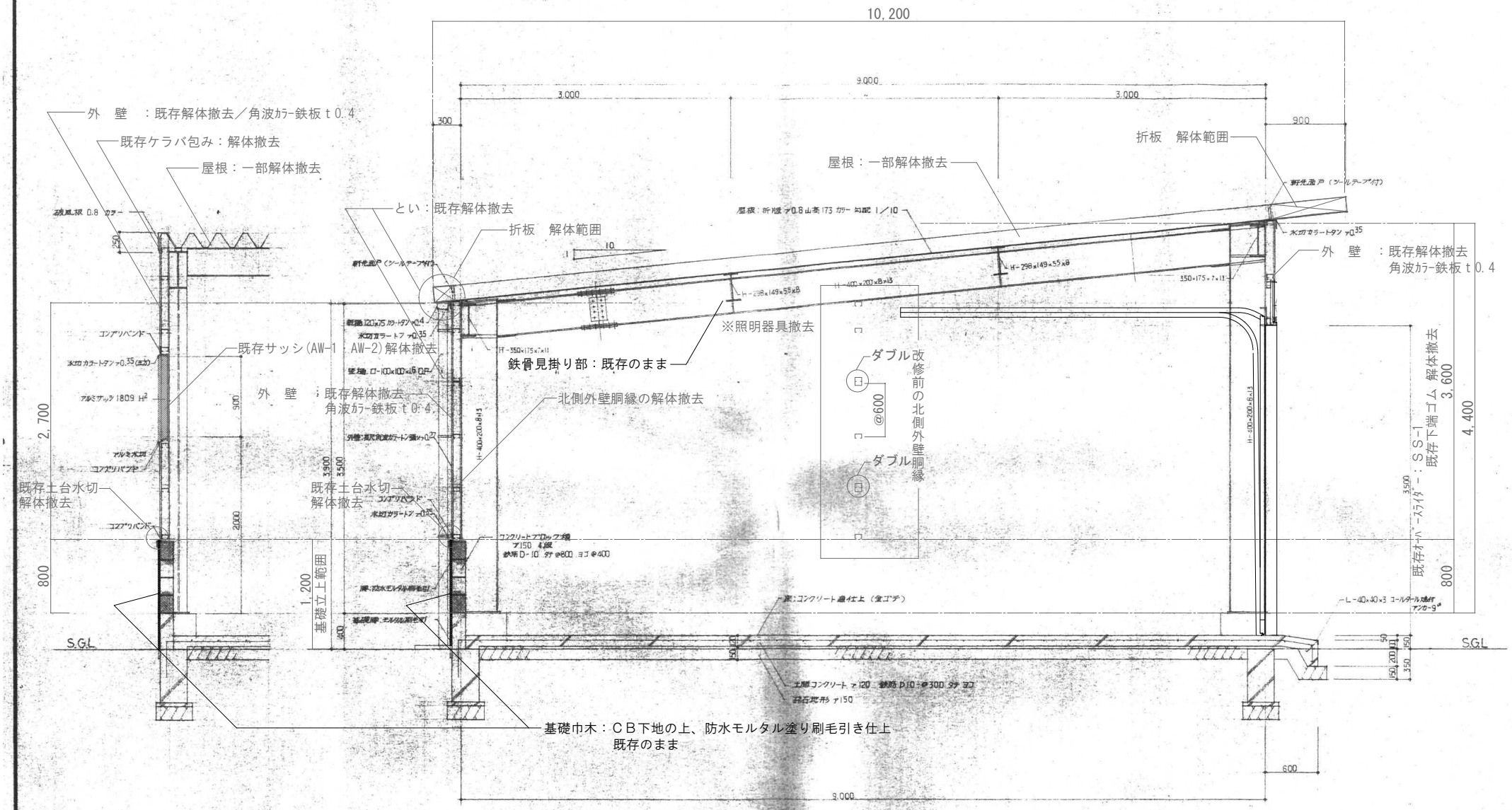
改 修

昭和49年竣工時／立面図

立面図 1/100

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	改修 立面図2 ＜北側車庫棟＞	1：100	A-13 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号



既　存

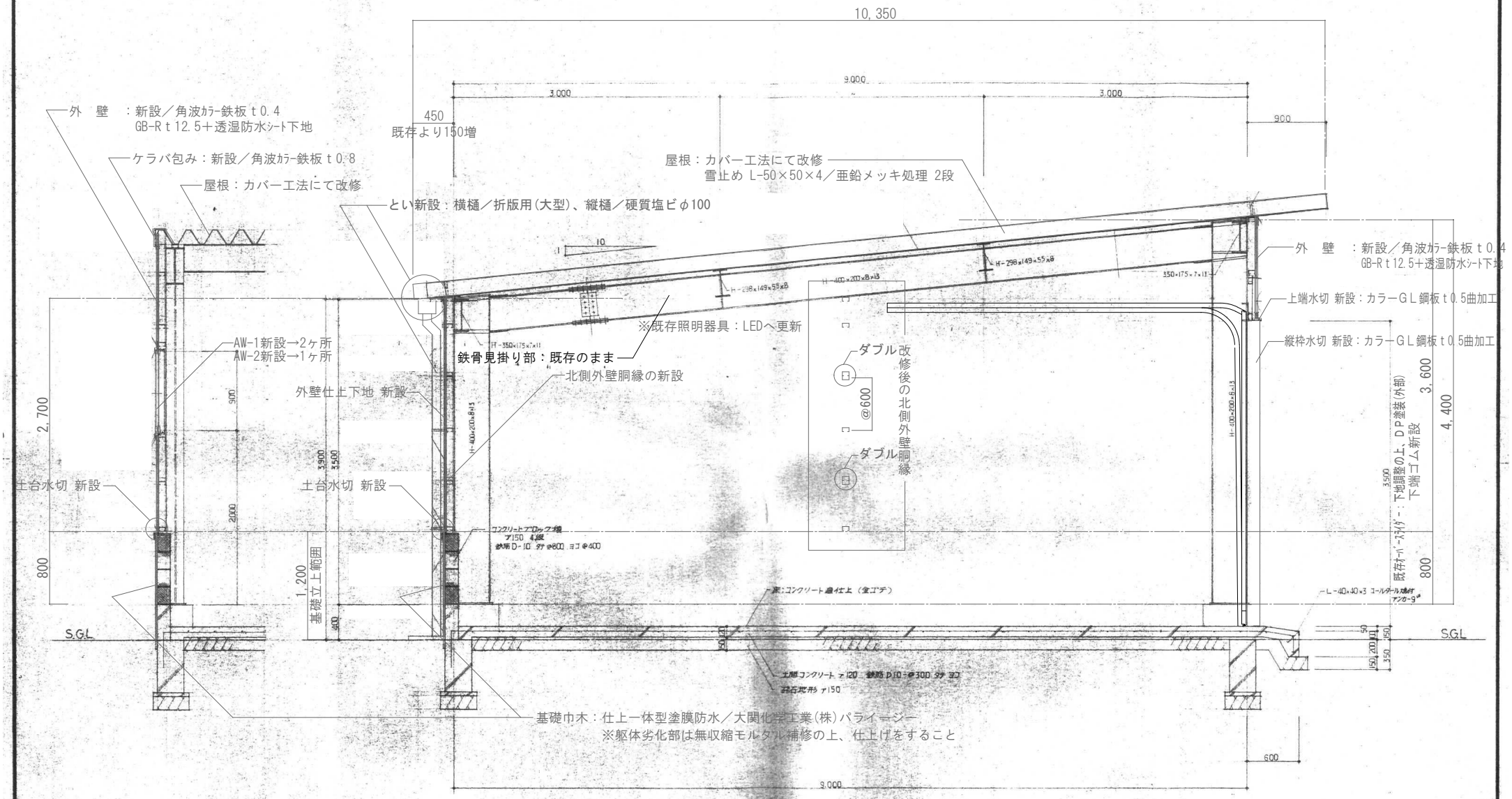
昭和56年増築時／標準矩計図

標準矩計図　1／30

註．高さ関係の寸法は既存部分に合せる事

MEMO	REVISION			TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
記				鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	既存 断面詳細図 ＜北側車庫棟＞	1：30	A-14 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042　鶴岡市新形町24-1
TEL　0235-24-3216　　FAX　0235-24-6006
一級建築士事務所　山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士　木村俊　一級建築士　大臣登録　第323377号
axcreate



改　修

昭和56年増築時／標準矩計図

標準矩計図　1／30

註：高さ関係の寸法は既存部分に合せる事

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	改修 断面詳細図 ＜北側車庫棟＞	1：30	A-15 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

設計書　　仕様書

1 工事名　朝日村除雪車格納庫新築工事
2 工事場所　東田川郡朝日村大字下名川字落合地内
3 構造・規模　除雪車格納庫　鉄骨造平家建一部2階建
建築面積　540.63 m²
建築床面積　1階　500.85 m²
中2階　58.62 m²
延べ　560.47 m²

4 附帯工事　電気設備工事
給排水衛生ガス設備工事
外構工事（下記エクロ）

5 仕様
本設計書及仕様書及設計図面の通り

既存

既存 仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	摘要
車庫 ~~除雪車格納庫~~	既存のまま コンクリート間時金ゴテ仕上	既存のまま モルタル金ゴテ仕上	外壁下端防火ライト t6（アルミダイヤー付）　鉄骨柱部見て掛り SOP ラスモルト下地 モルタル金ゴテ 既存のまま EP.A	折板 アラワシ デッキプレート アラワシ 既存のまま SOP	アルミ防虫スライト式 L=40 既存造作棚の解体撤去 ラスモルト目地　水抜パイプ　ピットアンカ　ピット防水 既存のまま
出入口	既存のまま 同上	既存のまま 同上	一部間仕切壁 解体撤去：木間仕切（トイレ一出入口） ラスモルト下地 モルタル金ゴテ 既存のまま/一部撤去	デッキプレート アラワシ 既存のまま SOP	
休憩室 15帖	一部 板ワク　既存床仕上下地の全面撤去 合板ベース t12　タワミ t60		柱 ラスモルト下地　平壁仕上　一部ラスモルト下地モルタル 空壁仕上 既存のまま/一部撤去 建築確認番号第H20-138号	建築確認番号第H20-139号 れんがメ下地付 和モルタル仕上 既存仕上下地の全面撤去	解体撤去　解体撤去　既存のまま 中空仕様 薄板　青松 寸切丸太 90°　床下換気孔金物（80×600 9ヶ所）新たに付
給湯	既存のまま モルタル金ゴテ仕上	既存のまま モルタル金ゴテ仕上	ナショナル キッチン省　一部ラスモルト下地モルタル金ゴテ 既存のまま LPA	建築確認番号第H20-139号 PB t9 目ツマラ 既存仕上下地の全面撤去 P.A	上り框 一解体撤去 マキストン流シ L=120　ラマコ：口径 L=600 一解体撤去
トイレ	既存床仕上の全面撤去 伊奈ユ省モザイクタイル貼り	既存のまま ビニル巾木 100°ロール貼り H=300	柱 タイヤン ハードタイル（ニューアート） 既存のまま/一部撤去 SOP	同上 既存仕上下地の全面撤去 P.A	
物置	既存のまま モルタル金ゴテ仕上	既存のまま モルタル金ゴテ仕上	~~外壁下端防火ライト t6（アルミダイヤー付）~~　~~一部ラスモルト下地モルタル金ゴテ~~ 防火タイル t6（アルミダイヤー付）　鉄骨柱部見て掛り 既存のまま/一部撤去 一部間仕切壁 解体撤去：木間仕切（物置一休憩室）	デッキプレート アラワシ 既存のまま SOP	既存造作棚の解体撤去（L4000×D450×H1800 3段） フナ 3段
押入	既存床仕上下地の全面撤去 ベニヤベース t55		PB t9 全面撤去/一部残置	PB t9 既存仕上下地の全面撤去	既存押入棚の解体撤去 中フナ
中2階	既存のまま コンクリート間時金ゴテ仕上		鉄骨柱部見て掛り ~~外壁下端防火ライト t6（アルミダイヤー付）~~ SOP 既存のまま	折板 アラワシ 既存のまま	~~外側手すり 木手摺~~

既存外装

屋根：丸波折板I型（ギルトネエ塗）t0 カラー　勾配 12/100　庇共 ——> 大屋根：既存のまま ※軒先部を解体撤去、下屋：解体撤去　アルミサッシ　無色アルマイト ——> 解体撤去

外壁：長尺波板カラー鉄皮張り t0.35　下張 防火ライト t6%（アルミダイヤー付）——> 解体撤去

水切雨樋：コンクリート打放き仕上 ——> 既存のまま ※躯体が露出している部位は無収縮モルタル補修

エプロン：コンクリート間時金ゴテ仕上（エラスタイト目地）——> 既存のまま

鉄骨部：波折板 S-60 カラー t1.0%　防錆 t1.0% カラー加工　壁面 SOP 2回 掃金物付 ——> 解体撤去

○産業廃棄物の扱い（みなし扱い）
・防火ライト t6 → アスベスト含有
・P. Bt9 → アスベスト含有
~~・ラスボード → アスベスト含有~~

昭和55年6月確認申請時

MEMO

REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
	鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	既存 仕上表 ＜東側車庫棟＞	1：100	A-16 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216　FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

設計書　　仕様書

1 工事名　朝日町除雪車格納庫新築工事
2 工事場所　東田川郡朝日町大字下名川字塩谷地内
3 概要内容　除雪車格納庫　鉄骨造平家建一部2階　1棟

建築面積		540.63 m²
建築床面積	1階	500.85 m²
	中2階	59.62 m²
	延べ	560.47 m²

4 附帯工事　電気設備工事
給排水衛生設備工事
外構工事（支給エアコン）

5 仕様　本設計書及仕様書及設計図の通り

改修

改修仕上表

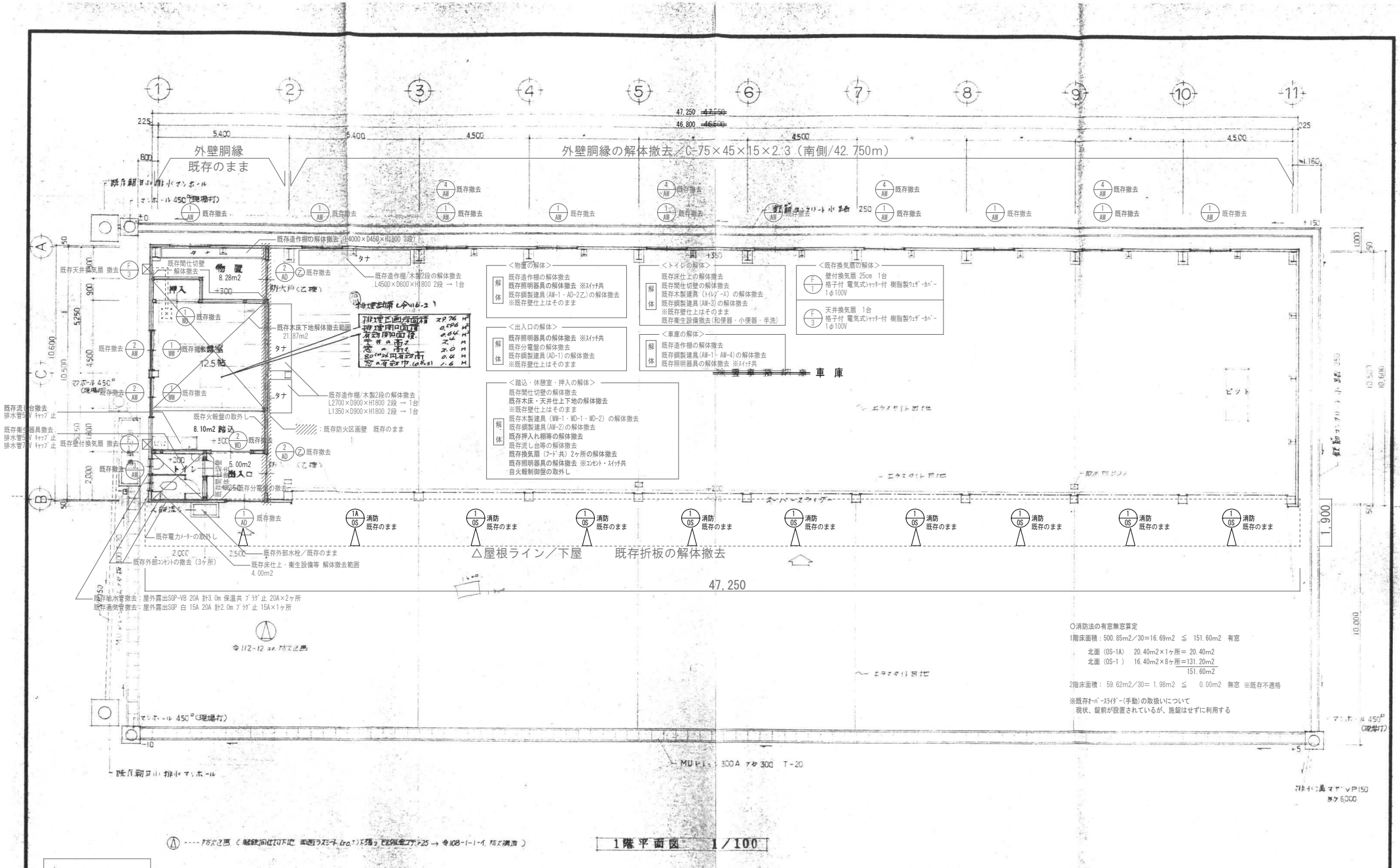
室名	床	巾木	壁	天井	摘要
車庫 ~~除雪車格納庫~~	既存のまま コンクリート面時金ゴテ仕上	既存のまま モルタル金ゴテ仕上	外壁下張り透明ポリカ t6（アルミ多ライナー付）　鉄骨鉄部剥し塗り ラスモルト下地 モルタル金ゴテ	SOP EP.A 既存のまま	竹板ヌキ デッキプレート アラワシ 既存のまま SOP アルミ障子スライド式 L=4.0 ラスタイト目地　先細コーナーアングル　ピットアングル　ピット防水　既存のまま
出入口	下地モルタル調整＋ケイ酸塩系コンクリート表面強化材 同　上	ソフト巾木H60 同　上	GB-R t 12.5(素地)　LGS65下地	GB-D t 9.5　LGS-C19下地	
倉庫 ~~休憩室~~ ~~ー~~ ~~帖~~	下地モルタル t 30＋ケイ酸塩系コンクリート表面強化材	ソフト巾木H60	GB-R t 12.5(素地)　LGS65＋GW t 50下地	GB-D t 9.5　LGS-C19＋GW t 100下地	~~中廊下柱 壁下 t 4.5 ラワン丸太 90φ~~　床下換気口の塞ぎ　床下換気金物（150×600 ﾀﾃ型 防虫網内付）
倉庫 ~~物置~~	既存モルタル下地＋ケイ酸塩系コンクリート表面強化材 ~~モルタル金ゴテ仕上~~	ソフト巾木H60 ~~モルタル金ゴテ仕上~~	GB-R t 12.5(素地)　LGS65＋GW t 50下地	GB-D t 9.5　LGS-C19＋GW t 100下地	~~中棚~~ ~~ブラケット受け L-25 ブラケット 杉角 L=900~~
出入口 ~~トイレ~~	下地モルタル t 50＋ケイ酸塩系コンクリート表面強化材 ~~伊万里金ゴテ仕上 貼り~~	ソフト巾木H60 ~~ビニル巾木 100φ mm 貼り t 30~~	GB-R t 12.5(素地)　LGS65下地	GB-D t 9.5　LGS-C19下地	
倉庫 ~~物置~~	既存モルタル下地＋ケイ酸塩系コンクリート表面強化材 ~~モルタル金ゴテ仕上~~	ソフト巾木H60 ~~モルタル金ゴテ仕上~~	GB-R t 12.5(素地)　LGS65＋GW t 50下地	GB-D t 9.5　LGS-C19＋GW t 100下地	~~ブラケット 3段~~
倉庫 ~~押入~~	下地モルタル t 30＋ケイ酸塩系コンクリート表面強化材 ~~モルタル金ゴテ 55~~	ソフト巾木H60	GB-R t 12.5(素地)　LGS65＋GW t 50下地	GB-D t 9.5　LGS-C19＋GW t 100下地	~~中棚~~
小屋裏 ~~中2階~~	既存のまま コンクリート面時金ゴテ仕上	既存のまま	鉄骨鉄部剥し塗り 外壁下張り ~~透明ポリカ t 6（アルミ多ライナー付）~~　既存のまま	SOP 竹板アラワシ　既存のまま	~~竹板ヌキ 丸太ヌキ 杉~~

改修外装	大屋根　：カバー工法／丸馳折版Ⅰ型 ｶﾗｰGL鋼板 t 1.0 ※軒先部は既存解体撤去の上、新設 雪止め L-50×50×4／亜鉛ﾒｯｷ処理 2段　折版裏 ﾌｫﾝｴｰｽ t 4.0(NM-0758) 下　屋　：既存解体撤去の上、新設／丸馳折版Ⅰ型 ｶﾗｰGL鋼板 t 1.0 外　壁　：既存解体撤去の上、新設／角波ｶﾗｰ鉄板 t 0.4　外壁30分防火構造（PC030NE-0029） GB-R t 12.5＋GB-R t 9.5＋透湿防水ｼｰﾄ下地 軒　天　：折版表し 外壁見切：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.4曲げ加工　　外壁開口部(上場ｶﾊﾞｰ・両袖縦枠)：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.5曲げ加工 土台水切：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.4曲げ加工　　ｻｯｼ枠廻り：ｶﾗｰGL鋼板 t 0.4曲げ加工 基礎巾木：仕上一体型塗膜防水／大関化学工業(株)パライージー　※躯体劣化部は補修の上、仕上げをすること と　い　：横樋／折版用(大型)、縦樋／硬質塩ビφ100

昭和55年6月確認申請時

MEMO	REVISION			TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
				鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	改修 仕上表 ＜東側車庫棟＞	1：100	A-17 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216　FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号
axcreate



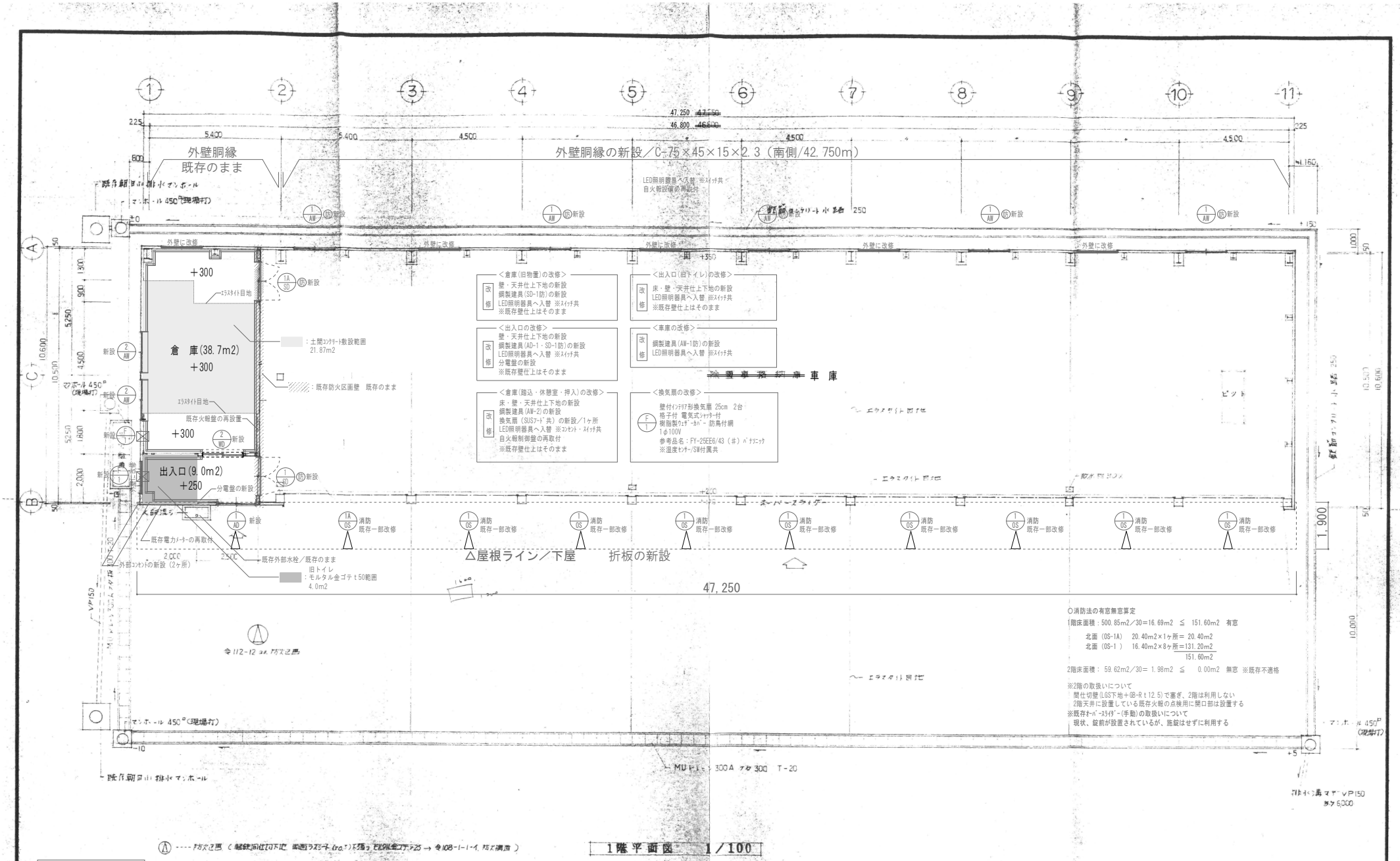
1階平面図 1/100

既 存

昭和55年6月確認申請時

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	既存 1階平面図 ＜東側車庫棟＞	1：100	A-18 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号

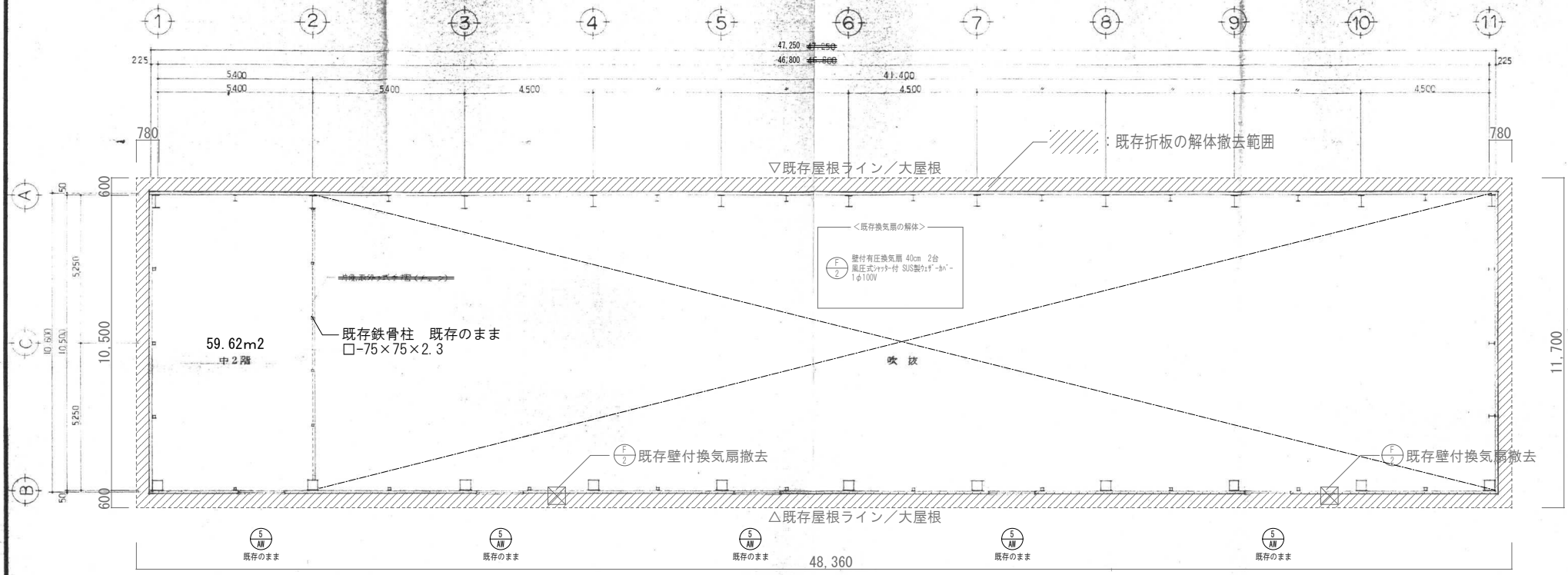


改 修

昭和55年6月確認申請時

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	改修 1階平面図 ＜東側車庫棟＞	1：100	A-19 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号



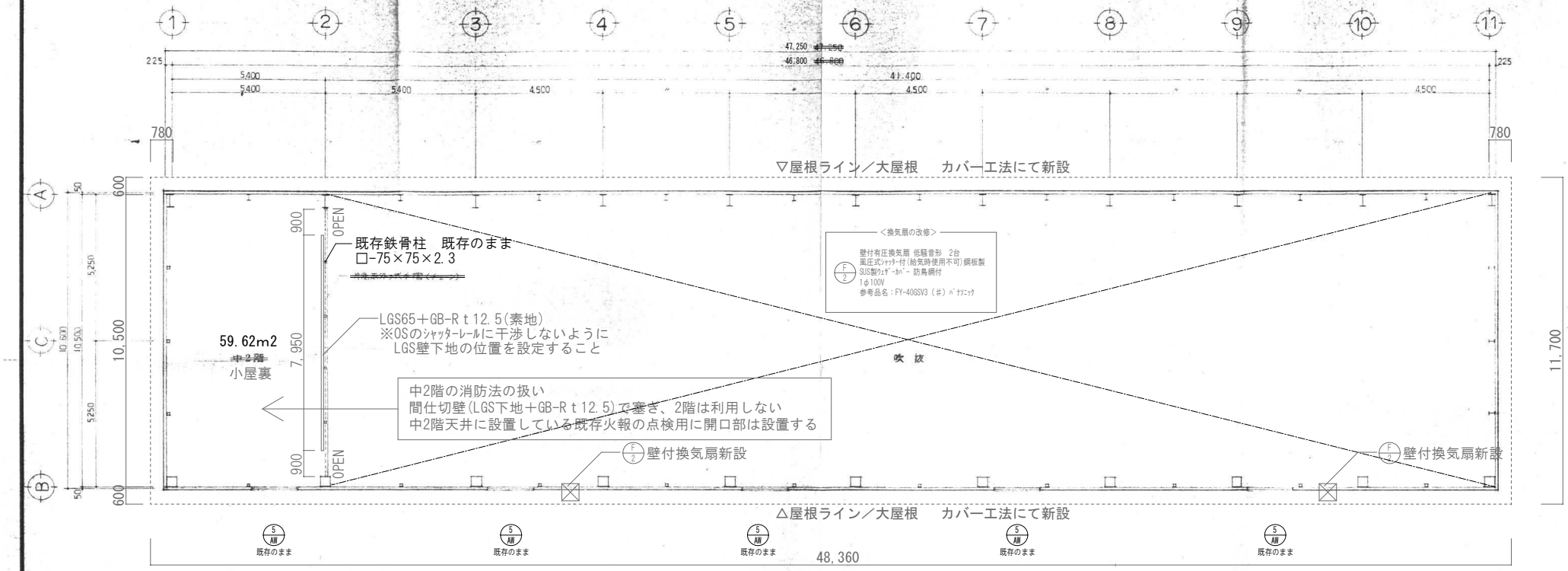
中2階 平 面 図　1/100

既　存

昭和55年6月確認申請時

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	既存 2階平面図 ＜東側車庫棟＞	1 : 100	A-20 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号



中2階 平　面　図　1/100

改　修

昭和55年6月確認申請時

MEMO	REVISION	TITLE	D.N	SCALE	SHEET NO
		鶴岡市朝日庁舎車庫棟改修工事	改修 2階平面図 <東側車庫棟>	1 : 100	A-21 DAY R7.01

一級建築士事務所
株式会社 アックスクリエート
〒997-0042 鶴岡市新形町24-1
TEL 0235-24-3216 FAX 0235-24-6006
一級建築士事務所 山形県知事登録（1303）第641号
管理建築士 木村俊 一級建築士 大臣登録 第323377号
axcreate